

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

品(紳士用入形、十個) ×
品(スワート、シヤラントド、一打) ×
品(五個)、着衣一打) ×
品(又是一個十個) ×
品(磁器及ガラスの掛け物なども)(二個) ×
品(金銀又は瑠璃の掛物なども) ×
品(石炭油燈一個) ×
品(又は物を用品などして別紙に傳付

(一) ラボオ取置器及部分品
(二) 服用地氈より多しの手織を替へ
(三) 服用用浴衣
(四) 扇用電氣九筋又は體操ストロップ
(五) 針線器具及び縫分品
(六) 洗面及び歯磨器具
(七) 香炉自煎茶籠、七十圓以上の品物
(八) 化粧品箱有刺繍手鏡等々

(一) マウチン
(二) 酒類御酒食具及果實酒(酒類及び御酒食具有刺繍第三條第三項に規定するものを除く)

今日は憲法親王五十周年記念日 ×
敗戦の春、めづらしく二月一日、を同様に戦後「開國」の日。 ×
第一級に立つ皇座の重宝を露見し、日皇威のためきよ ×
今日の佳日は日皇誕生された人々の歡び、光榮。 ×
皇朝臣民の市面、一般市民の歡びが隨つて、皇生を海せむ。

(品) (紳士用入形、
十個)
(一) スワート、シヤ
ラントド、
トード(各五個)
又は一組半十個
又は一組半十個
磁器やガラスの
掛け物なども(二
三個)
鍍金し又は塗りた
別紙に掛けざるも

石炭貯山(一個)
又は薪を用ひた
りして別紙に掛け

十二、おもしろく見せしめ
十三、珍妙なライオン
(一) ライオン取器及一部分品
服用上より多少の手慮を要す
(二) 取用器具等
(三) 扇及び部分品
(四) 暖炉用電気九筋又は煤油ス
トップ
(五) 時計表及び部分品
(六) 傘及び雨具等類
(七) 香炉自煎茶卓、七十圓以上
の価値あり
(八) 化粧品箱有刺繍手鏡等
第三條

(一) マウチ
(二) 酒類御酒食店へ果実酒(酒
類及び御酒食有刺繍第三條第
三項に規定するものを除く)

今日は憲法親王五十周年記念祭
日
×
歌謡の春、めづらしく(二)
月一日、を同席に觀望に
「國體」の演、也。

第一夜に立ち、皇座の重きを寓
深ふ、日皇陛下のためきよ。
今日の佳日は日皇誕生されたる
人の歡び、光榮々。
× × ×
皇朝臣民の市面、一般國民の
歡びに關つて、皇座を海老七

事變下の紀元節

街に漂ふ銃後の熱

紅白の旗を掲げ、銃後の熱を表現する。事変下の紀元節、街に漂ふ銃後の熱。この日、東京の各街角には、紅白の旗が掲げられ、銃後の熱が表現されている。市民たちは、この日を機に、平和を祈り、国家の発展を願っている。

捕縄をふり切り 刑事に斬り付く

これは兇暴極まる板の間稼ぎ。隠れ家には贓品の山。この日、板の間稼ぎの兇暴な犯罪が起った。隠れ家には贓品の山があり、刑事に斬り付くという驚くべき出来事があった。

傍聴人もホロリ

犯人馬場悔悟の涙 判決は来る十七日

山崎重太郎の傍聴人も、犯人馬場の悔悟の涙にホロリとした。判決は来る十七日。この日、山崎重太郎の傍聴人も、犯人馬場の悔悟の涙にホロリとした。判決は来る十七日。

受験生の春いづこ

なか／雛に解れぬ學士様の卵

受験生の春いづこ。なか／雛に解れぬ學士様の卵。この日、受験生の春いづこ。なか／雛に解れぬ學士様の卵。

左利に嘆きの一弾

麦酒に呼應、内地酒も値上げ

左利に嘆きの一弾。麦酒に呼應、内地酒も値上げ。この日、左利に嘆きの一弾。麦酒に呼應、内地酒も値上げ。

華僑警察へ持込む

今は用なし白日旗

華僑警察へ持込む。今は用なし白日旗。この日、華僑警察へ持込む。今は用なし白日旗。

社會教化の功績で 表彰された人々

社會教化の功績で 表彰された人々。この日、社會教化の功績で 表彰された人々。

五ノ井部隊長

五ノ井部隊長。この日、五ノ井部隊長。

張中樞氏参議院

張中樞氏参議院。この日、張中樞氏参議院。

簡保業績の進歩

簡保業績の進歩。この日、簡保業績の進歩。

仁川地方

仁川地方。この日、仁川地方。

天氣情報

天氣情報。この日、天氣情報。

今日のラヂオ

今日のラヂオ。この日、今日のラヂオ。

お金の家出

お金の家出。この日、お金の家出。

昭利飛行工業

昭利飛行工業。この日、昭利飛行工業。

平壤製作所

平壤製作所。この日、平壤製作所。

お金の家出

お金の家出。この日、お金の家出。

昭利飛行工業

昭利飛行工業。この日、昭利飛行工業。

平壤製作所

平壤製作所。この日、平壤製作所。

お金の家出

お金の家出。この日、お金の家出。

昭利飛行工業

昭利飛行工業。この日、昭利飛行工業。

平壤製作所

平壤製作所。この日、平壤製作所。

お金の家出

お金の家出。この日、お金の家出。

昭利飛行工業

昭利飛行工業。この日、昭利飛行工業。

平壤製作所

平壤製作所。この日、平壤製作所。

お金の家出

お金の家出。この日、お金の家出。

膀胱力カタル

腎臓病が全快
病根から治るので驚かる

近代的に明朗な

販賣場を募集致します

曲進行國愛

愛國進行曲の標準

毛皮ナシ

の間に癒す

大募集

特別優待

毛皮ナシ

の間に癒す

大募集

特別優待

毛皮ナシ

の間に癒す

大募集

特別優待

毛皮ナシ

の間に癒す

大募集

特別優待

毛皮ナシ

の間に癒す

大募集

特別優待

毛皮ナシ

の間に癒す

大募集

特別優待

毛皮ナシ

の間に癒す

大募集

特別優待

毛皮ナシ

の間に癒す

大募集

特別優待

泌尿科専門

世界の最新

泌尿科専門

世界の最新

泌尿科専門

世界の最新

泌尿科専門

世界の最新

泌尿科専門

世界の最新

泌尿科専門

世界の最新

泌尿科専門

世界の最新

泌尿科専門

世界の最新

泌尿科専門

世界の最新

泌尿科専門

世界の最新

泌尿科専門

世界の最新

泌尿科専門

世界の最新

泌尿科専門

世界の最新

泌尿科専門

世界の最新

泌尿科専門

世界の最新

泌尿科専門

世界の最新

泌尿科専門

世界の最新

泌尿科専門

世界の最新

泌尿科専門

世界の最新

「そつちより此方がいい」
と云うのでねえ、みんなてそこか
追つかへろ。」

「馬鹿な話、いふねえ。一手にならなけりやあつてするんぞ。狭さうちが直つたに」と。

「おや」と云ひ笑つたところ、小ざかの間、轟盛の監合ひと、聲を聞かせた。
「はま手に入らず、俺に所方行
くぢやないやがれ、俺に處だ！」

五人が入つて二組、別に二人
手に分けて兎殿の扇を進めかけ
てゐる。

「おききた。わびで！」
内にはつたとき、杜の奥深く
いてゐた作匠の眼に、その立姿が
響いた。

(息をついた。わびで！)

作匠にと云ふの十時半の手をか

[illegible]

ふる血のしわざ

寒さ身に覺える今日此の頃
足の痺れ冷え痛む方で血脈
をふ計りになつた方があり
ますか。

さういふ方が必ずや當座



斯^かうすれば丈夫^{じやうぶ}になれて
 腦^{なう}溢^{いつ}血^{けつ}を未然^{みぜん}に防^{ふせ}ぐ

血は軀のさび

來^キは煙や吸角による瀉^{リョウ}血法、或は峻下^{ジュンゲ}療^{リョウ}法等で治療して參りましたが、幾分の副作用ある缺點を痛感し、現^{マダ}に醫學的立場による是が再検討は程かに體外へ排泄して血行を整へますから腦溢血を未然に防ぐ事が出来るのであります。

「よる血」とはいふものではない」と云つた位で若氣の過ちによる感染毒か、遺傳毒に日頃嗜む酒、極草の毒などが加はり血液を濁らし血行を妨げるからで、此の「よる血」を治める方は是非、「よる血療法」の一因によつて其の眞價を知られ。



頭にふる血


から「自物と邪氣のかよる血」といふものではない」と云つた位で若氣の過ちによる感染毒か、遺傳毒に日頃嗜む酒、極草の毒などが加はり血液を濁らし血行を妨げるからで、此の「よる血」を治める方は是非、「よる血療法」の一因によつて其の眞價を知られ。



足の痺れ冷え痛みが薄らぎ

布施市荒本 鈴木孝一

其の後毎日かゝさず飲んで居りますが、近頃では體の調子も良くなり、手足の冷痛みは薄らぎ、血脈も常態近く迄下つたので、此の分ならば腦溢血にかゝらずに済んだかと嬉しくなりません。現今では寫眞の通り元氣になり、これらもひとへにフル子鉦のお蔭と喜びに溢れて居ります。

[illegible]

サンエッチ H.H.H.
靴を 丈夫にする 靴グリーム

シアニド製法
メトキセ
ニボニボ
心用のドノ
心用のキセ
大分

子專門
野崎肛門科
入院 京坂岡崎町
隨意 電話九三三

ダイヤ型

両面書

美しい
十二角軸

一本で太
細書き

¥ 3.00

¥ 3.00

ダイヤ型十二角軸ペン付 全 2,500円



10センチ
14センチ
18センチ

ローラーボールペン

ローラーボールペン

各眼科病院處方眼鏡責任調製

京城醫事院醫師 正統眼科醫院
延平寺主劉德勝 金井眼科醫院
馬山鐵道醫院院長 金井眼科醫院
羅山館主 河野 仁子君 金井眼科醫院
本會理事長 河野 仁子君 金井眼科醫院

京城帝國大學御用

大學生眼鏡店

京城府津町二丁目
京橋通角三三七番地
電話東京一五七九號

▲附圖：眼鏡

力尹博士監製（一九三〇）

誰の？

ネミ・クワイテ・東

詩作・雄房神倉
曲作・男政廣古

日本シヤヌ
第一入者に
よと愉しん
歌謡に厚賞
けられん

ドーコレクタイテ

東宝映画
「探偵の夢」
主題歌

ミカドの創作歌

★アイルランドの國
★星のハワイ
★林檎の園の下で
★御本判の庭



A row of five stylized, dark, angular figures in various poses, some with small faces and limbs, set against a light background. The figures are composed of thick, black, geometric shapes, giving them a blocky, almost abstract appearance. Each figure has a unique pose, with some appearing to be in motion or interacting with each other. Small, simple faces and limbs are attached to the main body shapes, adding a touch of personality to the otherwise abstract forms. The overall style is minimalist and graphic, reminiscent of mid-century modern design or abstract expressionism.

袋足助福  る立引姿お 袋足助福  たれ優立仕 袋足助福  い強く温

四三	四二	四一	日三十一	リ月十	吉
6,50	2,45		仁	真	1
7,55	4,00	12,10	部	を	2
9,10	5,15	1,25	ス	ユ	3
9,25	5,30	1,40	助	飛	4
領主川由・井岸・原隆(2)領主乙月・二領主可(1)			領主一飛本領(4)		

二月九日 大朝議 事變に報 るに赴作	海の巨人 日本版の グイスターマラダ 名劇作 元祿十六年 市川右之衛門主演 大木実子 大泉滉作	呼子 島 (母の時代) 河津清三郎主演 午南十時三十分 スナック・アジマ
-----------------------------	---	--

日	一	二	三	四	五	六	日
8-30	2-10	スー 作特	ユニ レガ	ニシ ンガ	リマ 赤マ	二月 十二 日より	日
6-50	2-30	ん	ス	兵	候斥の	人五	日
8-30	4-10	ス	兵	候斥の	人五	人五	日
9-05	4-45	ス	兵	候斥の	人五	人五	日
日	一	二	三	四	五	六	日
日	一	二	三	四	五	六	日

活日活活日活日活日活日活日
利島大入の生二ツセツ
問運旗長陣 岡日五一一日五十十一日二十月二
スユニークート 日毎 日朝
者王 のり廣 背
モ ロ・グン キ
衆 若 化
しな群人横渡分十三時一前午
スピー棋半り上分三時八後午

活日活活日活日活日活日活日

[illegible]

二月(日)より六日間
 舞西
女座大歌舞伎
 中村國之助
 中村錦之丞
 坂寄奴
 中村錦蝶
 尾上四伴
 菊田上四郎
 三ツツクリ喜劇
 (今日より)
 二加賀見山
 三次郎千鶴
 白木春樹
 四、釣り女

[illegible]

松竹キマナ

(ゲ・日三十) 表開時ロ・映上リ日九月二

日三	日二	日一	
8.30	2.37	10.10	ス 一 ユ ニ
7.19	3.06	11.06	麿 庭 家 新
8.29	4.18	12.18	地 大

THE GOOD EARTH

明徳堂

梓の森・日一十・十月二
 イザンマとユウゲレ
 陣夷事 川會 勝 美 / 事 金
 でナブクノミ笑の制度で、愉快員一に二節元祝のこ
 日三十・二十廿の四を役のし過はニカウガガ
 場劇城京

十日曜日四時
 十一日曜日四時
 十二日曜日四時
 十三日曜日四時
 十四日曜日四時
 十五日曜日四時
 十六日曜日四時
 十七日曜日四時
 十八日曜日四時
 十九日曜日四時
 二十日曜日四時
 二十一日曜日四時
 二十二日曜日四時
 二十三日曜日四時
 二十四日曜日四時
 二十五日曜日四時
 二十六日曜日四時
 二十七日曜日四時
 二十八日曜日四時
 二十九年曜日四時
 三十年曜日四時
 三十一年曜日四時
 三十二年曜日四時
 三十三年曜日四時
 三十四年曜日四時
 三十五年曜日四時
 三十六年曜日四時
 三十七年曜日四時
 三十八年曜日四時
 三十九年曜日四時
 四十年曜日四時
 四十一年曜日四時
 四十二年曜日四時
 四十三年曜日四時
 四十四年曜日四時
 四十五年曜日四時
 四十六年曜日四時
 四十七年曜日四時
 四十八年曜日四時
 四十九年曜日四時
 五十年曜日四時
 五十一年曜日四時
 五十二年曜日四時
 五十三年曜日四時
 五十四年曜日四時
 五十五年曜日四時
 五十六年曜日四時
 五十七年曜日四時
 五十八年曜日四時
 五十九年曜日四時
 六十年曜日四時
 六十一年曜日四時
 六十二年曜日四時
 六十三年曜日四時
 六十四年曜日四時
 六十五年曜日四時
 六十六年曜日四時
 六十七年曜日四時
 六十八年曜日四時
 六十九年曜日四時
 七十年曜日四時
 七十一年曜日四時
 七十二年曜日四時
 七十三年曜日四時
 七十四年曜日四時
 七十五年曜日四時
 七十六年曜日四時
 七十七年曜日四時
 七十八年曜日四時
 七十九年曜日四時
 八十年曜日四時
 八十一年曜日四時
 八十二年曜日四時
 八十三年曜日四時
 八十四年曜日四時
 八十五年曜日四時
 八十六年曜日四時
 八十七年曜日四時
 八十八年曜日四時
 八十九年曜日四時
 九十年曜日四時
 九十一年曜日四時
 九十二年曜日四時
 九十三年曜日四時
 九十四年曜日四時
 九十五年曜日四時
 九十六年曜日四時
 九十七年曜日四時
 九十八年曜日四時
 九十九年曜日四時
 一百年曜日四時

[illegible]